

令和6年度

論田小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 楽しく、わかる授業をし、児童の考えを深める授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員 校長

【小中連携または中高連携における共通の取組】

学習のめあての提示・学習の振り返りを徹底して行う。

【取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○落ち着いて学習に取り組む児童が増えてきている。 ○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきた児童が増えてきている。 ●学力が二極化しており、個に応じた支援が必要である。 ●長い文章を正確に読み取ることや話し合いの基礎知識、身に付けた知識を関連付ける事に課題がある。	・学習課題に確実に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。 ・本に親しみ、読書量を増やす。 ・身に付けた知識や技能を他の学習や生活場面で効果的に活用することができる。	・基礎的な知識・技能を習得するために、習熟度に合わせ、繰り返し学習を行ったり、タブレットを活用したりする。 ・図書室の利用時間割を作成し、読書を定期的に行う習慣がつくような環境づくりをする。 ・問題解決の流れに沿った板書の工夫。 ・話し方・聞き方を提示し、話し合い活動につなげていく。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分なりの考えをもつことができ、発表しようとする児童が増えてきている。 ●根拠を明らかにして、自分の考えを説明することに課題がある。 ●相手の意図を捉えながら聞くことに課題がある。	・自分の考えを、根拠をもって表現することができる。 ・友達の考えを聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・多くの文章を読む機会を設ける。 ・ペア・グループ学習等、自分の考えを表出する時間を多く設定し、その際に根拠を明確にできるように支援する。 ・教員が児童の発言をつなぐ声かけを行うことで、児童が互いの考えを交流できるように工夫する。 ・児童の考えがわかるような板書の工夫や考えを深めるきっかけとなる発問の工夫を行う。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられた課題には、真面目に取り組める児童が増えてきている。 ○家庭学習の習慣がついてきた児童が増えてきている。 ●自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことに課題がある。 ●自尊感情を高めていく必要がある。	・自分で計画を立て毎日家庭学習ができる。 ・進んで学習に取り組む、学ぶ楽しさを感じることができる。 ・自分を好きになり、意欲的に学習に取り組むことができる。	・児童が取り組みやすい家庭学習の課題の工夫。 ・学習の振り返りの時間を設け、本時を振り返り達成感をもつとともに、次への課題解決への見通しがもてるようにする。 ・体験学習や学校行事を通して、達成感や成就感をあげ合わせ、自尊感情を高める。 ・児童の頑張りを認め、ほめたり、みんなに紹介したりすることによって自尊感情を高める。			

令和6年度 学力向上ロードマップ



